



▲官庁にかこまれた教会（下山手栄光教会）

▼環境変化の中、新しい価値を付加（生田神社）



お寺や神社が村や町のシンボルであり、モニュメントでした。それは村全体のスカイラインの構成上からも、ひととき大きな建物や森であり又、精神上宗教上の中心だったからでしょう。西洋のルネッサンスでは町の中心が教会から市庁舎や裁判所、オペラハウスに移って来ましたが、これも建物の大きさや精神的中心だったからでしょう。神戸の場合、緑ゆたかな背山と大きな観光船や貨物船が出入港する港がある為に町全体のモニュメントになる建物は存在しません。しかし、お寺や神社の建物は現在でも街並みの中で立派にモニュメントの役割をはたしています。中山寺の回教寺院はカトリック教会とつらなり、この通りが北野小学校にあたり、トアロードとつながり、異国情緒ゆたかな街並を形成しています。又、兵庫県庁や県警本部、県民会館等の官庁の建物にかこまれたレンガ造りの栄光教会は前の大きな楠の木とその下にある再の魁石とともに、又県民オアシスの緑と結ばれてモニュメントとして市民に親しまれています。下山手の通称モダン寺は面白い形のお寺として又お風呂屋さん、飲みやさん、診療所お菓子屋さんなどのある下町の豊かな街並みを形成し、子供達や近くの人達のモニュメントの役割をはたしていると思います。この他生田神社や関帝廟、住吉神社、敏馬神社、長田神社等は、お正月等の祭の時だけでなく、昔とは形の上や精神的な意味は変わっていますが、常に自動車交通、大きな建物の建設等による環境の変化の中で常に新しい価値をつけ加えながら街の中でのモニュメントを形成していくことでしょう。

〈武田 則明〉

神戸のアーバンデザイン  
街とモニュメント

水谷頼介＋チーム・UR

(65)

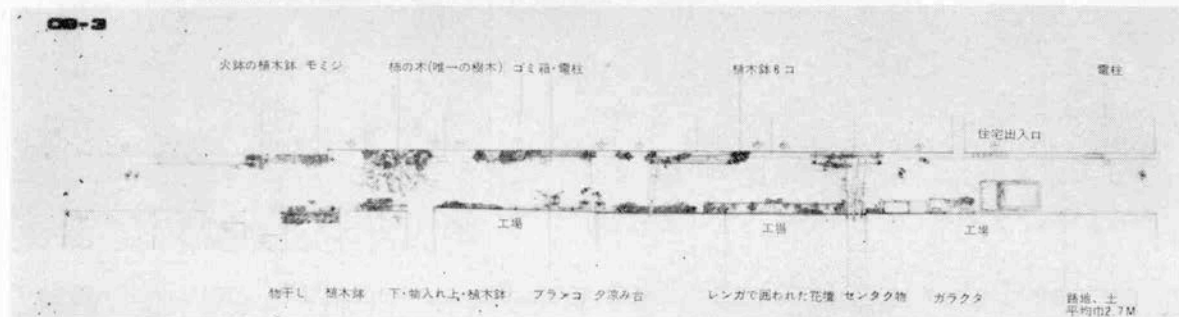
☆新しい住宅地やマンションと長屋を主体とした下町のすまいの環境とは、いろいろな面でたいへん異っていますが、そのなかのひとつに「路地」があります。道路がすっかり自動車のものになってしまい、道は人が話し合い、たずむ空間ではなくなってしまい、公園や集会所などが十分準備されていない下町では、車の入らない路地だけが、安全に子供が遊び、おかみさんたちが話しこみ、とよりが草花に水をやる唯一の空間なのです。

☆そんな路地を、これからの住宅地、生活環境改喜のための再開発といった時にどうやって生かしていくのかという観点で行った長田苅藻地区での調査の一部を紹介しましょう。



☆路地の第一の役割は通路です。それぞれの家への出入口があってその前は特にたくさんの草花によって飾られています。だから路地は同時に庭でもあります。第2は子供の遊び場です。第3に洗濯物の物干し場であり、物置きです。そして第4に、長屋の人達みんなの集会場であり、公園である共通の広場です。そこには、小さな社にまつられたお地蔵さんが路地を見守っています。

☆アパートの廊下や一階の建物まわりの貧しさは、路地のセミパブリック空間としての多重機能空間の豊かさに対して恥じなければなりません。  
(小林 郁雄)





# 神戸遊戯誌107

## ★楽しいが、危険防止の安全指導も活発

戦後いち早く始まったUコン機の方は今なお盛んで各地でファンが各種の競技会を開いているが、全国競技会（毎日新聞社・関西模型飛行機クラブ連合会共催）もすでにこととして第二十三回目の競技会を去る五月下旬に大阪の藤井寺球場で百二十余人の参加者を集めて開かれた。だいたいUコン機の値段は二、三千円から二万円までだが、これぐらいの値段なら、中・高校生でも買えるため、全国的に少年ファンの数は多い。全国のファンの数は四万人ぐらいいはあると思われるが、兵庫県でも約三千人はいらるだろう。それも地方のほうが多い。

次にラジコンだが、性能がよいだけに値段も高く、二万円から最優秀なものは二十五万円もする高級飛行機がある。だが、ファンの数は年々ふえ、現在全国には二万人といわれているが、県下にも千五百人ぐらいいはいる。全日本選手権大会はことし第十五回目を迎え、去る五月二十日、二十一日の両日三重県明野（あけの）飛行場で関西予選が行なわれたが、十月東京で全国決勝戦が行なわれることになっている。ちなみに両方共戦後早々は外



▲青野ケ原で飛ばす藤沢氏  
地面には不整地離着陸のための  
ビニールシートが敷かれている

主脚引込装置をもつ飛燕



▼井村正一氏  
（長谷川貿易株式会社）

▼藤沢清次氏  
（フジサワ模型）



国製がほとんどだったが、現在は日本製がたくさん作られているし、優秀品も多い。たとえばラジコン機についていえば、昔も今もアメリカ製（KアンドB社、コックス、ペコ製）はじめイギリスのマーコー製、イタリアのスーパードライガー、ドイツのグロップナーなどの外国製が多いが、現在は日本製も優秀でどしどし生産されている。その六割までは小川精機株式会社と塩谷製作所製である。

競技種目はUコンよりもラジコンの方がかなり多く、スタント（曲技）はじめスピード（たとえば、バイロンレース＝標式を十キロ回る）、スケール・モデル、その他各種の組み合わせとして、ラット・レース、コンバット、風船わりなどがある。わが国ではスタントがいちばん盛んである。ところでオモチャとはいっても機種の大きいものもあるし、最高時速二百三十キロ（TCCエンジン）も出して飛ぶのだからかなり危険である。いつ思いがけない故障や危険な事態が発生してケガをすることがあるかわからない。だからできるだけ人気のない広い場所を選んでプレイすることが第一条件である。県下でも神戸、尼崎、姫路などの都会は好適な広い場所が少ない。

模型飛行機② 青木 重雄

そこでファンは場所探しに苦労しているが、県下では三木市、武庫川河原、別府（べふ）、小野市、加古川市方面が多く選ばれている。地域の広さの上に高さも必要である。ラジコンはコンスタントに百メートルから百七十五メートル（千メートルぐらいまで電波はとどく）を飛ばし、Uコンでも十五メートルの高さを飛ばす。

こうした安全性を徹底させるために安全委員会（兵庫県ラジオコントロール模型安全飛行推進委員会）が警察指導のもとに結成され、活動しているが、同会では会員に会員登録証を渡して模型飛行を行なうための責任と権利の所在を明らかにしている。現在四百十人からの会員がいるが、この人らは自分のブレイだけでなく、会員外の一一般のファンの安全性確保のための実技指導を常に行なっている。だからいうまでもなく我流は絶対危険である。県下の各クラブに届けて所属の指導員から教えてもらう必要がある。上達法は実地に飛ばすより他に手がないのだから、こうした危険にそなえて対人対物保険（二百万円）がスポーツ保険（住友）の中に設けられていることをつけ加えておきたい。

では、全国的に組織されている会とはなると、日本模型航空連盟、日本無線模型飛行機協会（東京）・関西模型飛行機クラブ連合会（大阪）などで、これらが中心になつて全国的な競技会を開いているわけだが、先にも述べた全日本選手権大会の受賞者第三位までが参加資格を与えられる第十五回コントロールライン世界選手権大会（Uコン、フィンランドで七月十二日から一週間）に山崎与氏（尼崎三器工業、尼崎ANAC会員）が日本から初参加した。この他全米ラジコン競技会、ヨーロッパラジコン競技会、全米AMAJA競技会などの国際競技会があるが、全米ラジコンには日本から今までに四回ぐらい参加しているが、東京都および豊中市在住の二氏が第二十位ぐらいになったことがある。地方大会は各地で催されているが、県下ではまず神戸模型協会（業者クラブ）主催のものが一年回ある。すでに加古川で十回やった

が、ラジコンの十五種目を数種に減らして争うものでいつも神戸市長杯をめざして五十人ぐらいが参加している。その他神戸ラジコンクラブ（月会費千円）はジェームス山で練習や競技会をつづけているし、各地で諸クラブが同様の活動をつづけている。試合内容は近距離だけではなくて遠距離があり、たとえば神戸の多聞台地や須磨展望台からジェームス山までラジコンを飛ばしたことがある。途中二カ所で中継するが、トランシーバーで受け渡しするわけだ。

ファンには年齢では小学生から七十歳の老人までであるが、三十代、四十代が最も多い。女性ファンはさすがに少ない。職業の方は多種で、商店主、医者、先生、郵便局員、建築士、電機屋、自動車屋などが多いが、神戸の顔ぶれのなかでは、井村正一、藤沢清次両安全委員がベテランとしてとりわけ模型飛行機の普及と後進の指導に活躍している。井村委員は戦争中は海軍機（彩雲）のパイロットをしていた人だし、藤沢委員は同様に海軍航海隊の整備員をしていた。共に戦争中の体験が二人を模型飛行機に結びつけたのも興味深い。変わりダネの一人にオバライン（七十歳）という神戸で貿易商をしている英人がいるが、とても熱心である。さて、この遊びが身につくまでには二年はかかるし、それまでに費用も百万円はかかる。だがブレイはただ楽しいだけではなくからだのためにもよい。全神経を集中すると共にたえずからだを動かすために全身が新陳代謝される。飛行機が地上に降りた瞬間ヤレヤレと思う解放感の味わいもまた格別である。最後にヒョーキの機材だがエクワドルから輸入のバルサ材が最良で桐の三分の一の軽さである。プラスチックは重い。バルサ、カヤ、ヒノキの上に絹や和紙をはり、アメリカ製の塗料をぬる。ブレイするだけでなく、へやに飾っても美術品のように美しいのも模型飛行機の一特色である。

（四七・六・二十二記）

〈次回はチェス〉



●世界の福祉施設ルポ<17>

## レニア・スクール

橋本 明



バックレイのワシントン州立「レニア・スクール」

週火曜日に他のボランティアと共にこのレニア・スクールまで施設見学に出かけていった。

晴れた日には左手にレニア山を望みながらの一時閑余りのドライブは快適そのものだし、道中ボランティアの女の子たちのおしゃべりに耳を傾けるのも楽しみの一つであった。

バックレイという町はすれに出ると、周囲をぐるっと塀で囲まれたかなり大きな施設があり、正門を入ると広い庭のあなたに星条旗がひととき高く掲げられている。私達はまず正面の建物の地下にあるボランティアオフィスでノートにサインをし、荷物をロッカーに入れておいてから帰りの時間をうちあわせ、それぞれが受けている奉仕活動をするため広い構内に別れていく。

「レニア・スクール」というのは精神薄弱児(者)の治療教育を目的とした施設で、一九三九年に開設された頃はまだ小規模な施設にすぎなかったが、現在では収容人員一七〇〇人という、ワシントン州では最大の施設となった。この施設では原則として、地域社会の他のどの施設でも受け入れてくれない、I・Q 35以上の精神薄弱児(者)を収容しており、収容人員の¾は十才から三〇才までで七〇歳以上のどこにも引きとり手のない老人もかなり多い。約半数がかなり重度の精神薄弱者で、一五%が歩行困難か、全く歩けない。広い構内には精神薄弱児(者)の寮、病院、学校、教会、リハビリテーションセンター、職員の寮や家屋など四三もの建物が点在しており、この大きな施設だけで一つの社会を構成している。原則としてでさうな限りの治療、教育、訓練を行なうて早期に家庭や地域社会に帰すよう努力はしているが、もともと家庭や地域社会では養護の難しい重度の障害者を収容しているだけに、一旦収容してしまえば社会復帰はなかなか難しく、多くの障害者はこの施設で生涯を過ごすようである。

シアトルの南七二キロ、タコマ市の東四〇キロのバックレイという小さな町のはずれに「レニア・スクール」という州立の精神薄弱児(者)の収容施設がある。バックレイの南東には日系人によってタコマ富士とよばれている、富士山によく似た秀麗なレニア山(四四四五呎)がそびえ、この施設はこのレニア山の麓に位置しているところから「レニア・スクール」と名付けられたのである。

シアトル滞在中、私はシアトル赤十字社の専用車で毎

このように一般の社会では自立した生活がきわめて困難と思われる重度障害者のためには、この施設内で彼ら

ができるだけ精神面でも肉体面でも生活しやすいような環境を整える必要がある。アメリカといえども障害者に対する偏見や差別は厳として存在するし、彼らに対する社会の壁もまた厚い。自立した生活がほとんど不可能に近い重度の障害者が何とか生きていくためには、閉鎖社会とか、隔離された社会とか、いろいろの批判はされても、現在の社会状況を考えれば、今生きていかねばならない重度の障害者にとっては、このような日本でいうコロニー式の養護方法もある程度必要なのではないかと思われる。もちろん、このレニア・スクールにおいても障害者だけの特殊社会が望ましいとは考えられていないので、パブリシティやボランティア活動を通じて一般社会との連携や啓蒙には最大の努力が払われているのはいまでもない。

ところで、このレニア・スクールで私はひとつのおもしろいプログラムを知った。

それは低所得家庭の高校生や大学生にこの施設でアルバイトとして精神薄弱児(者)の教育やレクリエーション活動に職員のアシスタントとして参加してもらい、一時間につき一・四ドル(約五百円)を支払って、それを学費のたしにしてもらうというプログラムである。

学業に支障があつてはいけなないので、最大限一週間に一五時間まで、夏休みは週に三三時間までという条件つきだが、このプログラムに参加している学生はかなり多いと聞く。

さらにこのプログラムを低所得層の老人にまで適用したのが「フォスター・グラントペアレントプログラム」とよばれる計画で、これについては以前ご紹介した。

貧困家庭の学生や老人に経済援助を与えるのに、単に事務的に金銭を支給するのではなく、このように障害者に対する労働の対価として支給する方法はこの他にもアメリカには多い。こういう活動は、単に施設の人手不足を補うという狭い意味だけでなく、長い目でみれば施設と社会とを結ぶ大切なパイプを築くことにもなり、地道な



レニア・スクール重度棟の重症心身障害児たち。ほとんど1日をねたきりのまま過す。

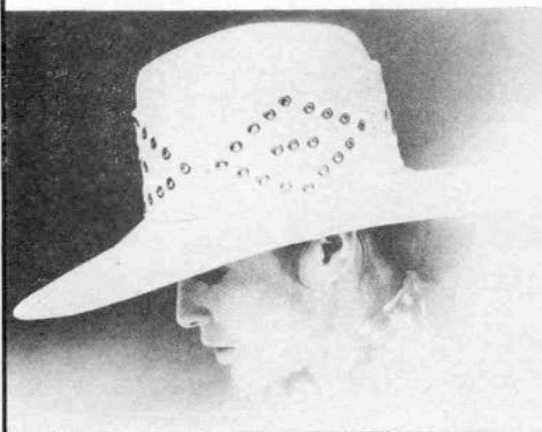
啓蒙運動にもつながっていく。

ところで、アメリカでは巨額の費用のかかる大型の施設は州立で、小さな施設は民間で運営されているが、この州立のレニア・スクールの年間経費は約四八〇万ドル(一七億三千万円)で一日一人当り八ドルをかけている。しかし、最近はいよいよこうした大型の施設に対する反省がみられるようになり、施設はしだいに小型化の方向をたどりつつある。

大きな施設を小さな単位に分解し、もう一度障害者を地域社会に帰し、その中で社会の一員として生活させていこうという考え方と、それに基づくグループホーム形態がアメリカで広まっている。

大舍制から小舍制へと移行しつつある、こうした新しい養護形態を次回にご紹介しよう。

真紅の太陽のもと  
涼しい憂いのやさしさ……



マシンの帽子のおもとは  
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

**マシン**

神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL(078)331-6711-3 TEL (03) 535-5041

COFFEE & MUSIC **IARQ**

〒659 芦屋市東平町8番14 芦屋川アーバンライフ B1  
OFFICE (079) 31-7955



**Open**

**8/4** 芦屋川アーバンライフに COFFEE & MUSIC **IARQ**



●特集／ルポルタージュ

# 島路淡 スケッチ

「花とミルクとオレンジの島」、夏の淡路を訪ねて海を渡った。いろんなところを歩きまわり、いろんなものを見た私たちの足あとがここにあります。



## ★淡路みどころ

●季節の花美しい東山寺

一宮町尾崎から淡路ゴルフ場を経て山道に入る。摩耶連山の一角にたたずむ東山寺は、弘法大師が開基した尼寺で、山門から本堂を結ぶ石階の両側には、シャクヤクカエデ、フジなどの樹木が並び、雨に濡れたあじさいの花が美しく咲き揃っている。この東山寺薬師堂には、国宝指定の木造薬師如来像と木造十二神将立像が安置されており、特に木造十二神将立像は、子ノ亥の十二支の像が各々異った刃、剣の武具を持ち十二神十二色の顔をして、お薬師さんを守っており、その姿は興味深いもの。



東山寺住職佐伯さん・境内にて

この住職である佐伯秀明さんは、もう七十余年もこの寺で過して来られ、寺の管理から行事すべてを一人なさっている。

「私の心配なのは後継者のことだけです。」

もう何もかも悟っていらっしやる様な落ち着いた態度を深い目差の中で、淋しそうに語られたこの言葉は忘れ難い。





伊弉諾神宮の巨木・夫婦大楠

# ●巨木の中で神話とともに生きる伊弉諾神宮

そもそも、淡路島は古事記・日本書紀によると、イザナギの命とイザナミの命の国生みの際にできた大八州国の最初に出来た島であり、この伊弉諾神宮は「伊弉諾尊・神」と既に早へ給ひて神あがましなんとす。是をもて幽宮を淡路の州につくりしづかに長く隠りましき」「故其の伊弉岐大神は淡路の多賀に坐なり」とあるように、イザナギの命の幽宮であるらしい。そのイザナギ、イザナミの二神をお祭りしてあるこの神宮は、縁結びの神様として、長寿の神様として親しまれている。正面の鳥居をくぐり、両側松並木の砂利の参道を進んでいくと右手の方に、幾歳もかわらぬ神のふた柱、まもらせたまえあらんかきりは」と書かれた徳川11代家斉の子齊裕の歌碑がある。その向側には放生池と名付けられた、生きたカメやコイを放して長寿を願う池がある。池のまん中の尾の長い亀の石像や朱、黒の鯉の泳ぐさまは、なんとはなく不気味な感じ。楠や松の巨木で囲まれた広い境内はきれいに掃除され、その静けさには伝説に育まれた神聖な場所というムードが漂う。本殿右側には、二神が始めて御夫妻の契りを結ばれ多くの御子神をお産みになり、日本国家をつくりなしたというゆかりに依り、夫婦大楠と呼ばれる見上げる程大きな楠が祭られ、カメラに収めるには壁を超す程のツワモノ。



時代の様式残る鳥飼八幡宮本殿

年中行事・粥占祭や祖霊社大祭、御例祭、秋・夏祭にはこの広い境内も人々で埋められ、特に粥占祭は、農家の人々にとっては最も大切な祭なのだそうである。春・秋には結婚式が非常に多いとか、巫子さんのお話を聞いて、本殿を振り返ると二メートル程のアオダイショウが、本殿から拝殿に向って堂々と体をくねらせている。そのヘビの姿は、いかにも古い神話に支えられた神宮の主のようでもあった。

## ●境内は子供の遊び場の鳥飼八幡宮

鳥飼浦からバスで三、四分のところにあり、京都石清水八幡宮の別宮である。ここには県指定文化財の御輿があり収蔵庫に収められているが、前もって連絡がなければ見られないそうである。本殿は慶長八年の再興で、管理職の米田さんの説明によると、向拝の一部、扉、縁回り屋根に後補の跡はみられるものの、その他、葺股、手挟み、笈形などの形はよく時代の様式を示しているとのこと。雨雲の間から射し込んだ光でくっきりと、浮び出た本堂に、うっすらではあるが彩色の朱の色がしみのように残っているの見える。

## ●只今工事中の日光寺

慶野松原から徒歩で二十分位のところにあるこの寺は県文化財・五輪塔・宝篋印塔四基や重要文化財の舌のある銅鐸で有名。山門の両

側には大きな仁王像が立ち、山門と本堂の真中辺りに小さな石像の置かれた石段の塔がある。この慶野松原辺りからは、しばしば刀や銅鐸、貨幣が堀り出され、まだ尚、土葬の風習が残っているのだそうである。ちょうど工事中でご多忙だった住職さんは、後で色々の資料



日光寺・中央の塔

を送って下さった親切な方。

# ●塔跡もくっきり残す国分寺

三原町・市から少し北に入った、タマネギ畑と水田の中にあるのがこの国分寺。境内らしい境内もない国分寺跡には、近代的建物の宝物館と、史跡淡路国分寺塔跡と書かれた碑があるだけで、昔の本堂あたりは今、この管理人の人が住んでいる。宝物館の扉をさっと開くと

大きな仏さん。これが県指定の木造釈迦如来である。ここの釈迦如来は大きく、全国で一つしかない丈六のお釈迦さんで鎌倉時代のものだそうである。また、大釈迦の前に置かれ

国文寺・釈迦如来



# ●私の好きなあわじ



淡路の春まつり  
國中富樹子  
〈神戸ドレスマー  
カール学院教師〉

私が生れたのは三原の国衛なんです。子供の頃から私達の近辺の村では農閑期になると、だれかが浄瑠璃のお師匠さんを招いて、お稽古を初めると皆、そこへ集って一緒に憶えるのです。あの子はいやう唄う子や、と年寄りにほめられると浄瑠璃が上手いということ。で、いっこうに手があがらん、といううと下手だということなのです。

た飛天像は対照的で、ちょうど手に乗せれる程の小さなもの。藤原時代の作であるらしいが、欄間かどこかに刻まれていて焼が残ったため、両手が欠けていて何を持っていたのかは分らないが、優しい顔をした感じのいい像である。塔跡碑の右側にある大日堂の中には塔の心礎の円形の跡がある。この堂を中心に南・東・北・西に礎石が並んでいて、この心礎から考えるとこの塔はおそらく七重塔であったと推測されるらしい。

# ●キジも行きかう先山・千光寺

洲本から福良へ向う道路を右に折れて先山へと向った。淡路の地図にとらめつけしながら車で走るのがどうもよく道に迷う。地図の上ではかない大きな道路になっている所が実際は山道だったりしたせいだ。先山への道はかなりの難路で、昨夜降った雨で道路はドロドロ。何度舌を噛みそうになったり、内臓の位置が入れ替わりそうなガタガタ道を車でのぼりつめると眼下に広々とした三原平野が木立の間に額縁の中の絵画のように飛びこんできた。淡路にこんな広い平野があったのかと思わず驚

子供の頃からこんな風に口伝へて感で憶えるのですから「サワリ」を誰でもが知っていて、春祭りともなれば「サワリ」を若ものが披露しあう大会があり、例えば、三月何日は自分の村、四月何日は隣り村といったぐあいにアチコチの部落で浄瑠璃大会があるのです。特に、三原郡の市村・三条村などは人形浄瑠璃の発生地といわれるだけあって、芝居だんじりや、投だんじりなど、手のこんだだんじりも一緒にみられるので、淡路へ行くのなら春祭りに、島の人々の素朴な感情にひたればとトテモ素敵だと思うのです。





先山・千光寺山門より本堂を望む

く。「淡路富士」とよばれるこの先山は、淡路全島の信仰の中心とされ、山上には立派な千光寺がある。駐車場から山頂の千光寺本堂まではかなりの階段があり、途中犬に吠えられながら一段一段登っていくと周囲の見晴しがさらにひらける。

雨降りであれば素晴らしいのに、と思いつつ石段を登りつめると、境内の入口に大きな仁王門がどっかと立ちはだかり、巨大なわらじが天井に供えてある。

正面の本堂は真言宗らしく重厚な感じで、東堂、護摩堂、三重塔も皆立派なものだ。

この寺は真言宗高野山金剛峯寺の中本山で末寺が十カ所ほどある。とにかく淡路は真言宗一色といっているほど真言宗が根をおろしており、淡路全体で真言宗の寺院が二一七カ所もあるときいた。

帰りに先山の向い側の山に登ってみた。そこからの眺望は実に素晴らしい一言につきる。なだらかに連なる山なみのかなたに洲本市が望め、その向うに紀淡海峡がキラキラと輝いてみえる。

下山する途中、私達は山道に七羽のキジを見つけた。親子連れなのか、車に出会ってもものんびりと構えて逃げ

ようとはしない。彼らもひょっとすると千光寺詣の帰りなのかもしれない。

#### ● 人気の少ない静寂の中の常隆寺

北淡山岳で二番目に高い常隆山の原生林に囲まれたこの寺の山門には、「平和」の文字を刻んだ平和の鐘があり、四国・中国・大阪・和歌山が展望できる伊勢の森も近くにある。この山門の平和の鐘と古寺が落ち着いた調和を見せ美しい。

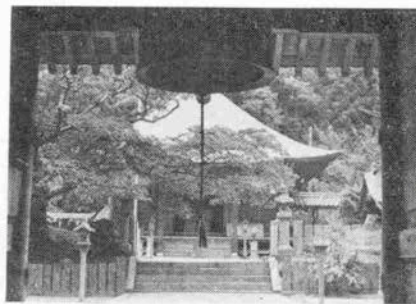
#### ● 塔のそびえる引拱寺

洲本―岩屋を

結ぶ国道沿いの志筑から西へ一キロのところにあり、石造十三重塔がある。都市近郊の寺社にはない、真の閑静さを味わうことができる。

#### ● 人形浄瑠璃

三原町・市から徒歩三十分程の所に三条という村がある。その村に淡路人形浄瑠璃発祥の碑があることを聞いて三条村に赴いたのであるが、タマネギ畑、水田が続くばかりでそれらしいものは見つからない。村の人に幾度も問うて、やっと着いた八幡宮の鳥居の横に、淡路人形浄瑠璃発祥地」と書かれた石碑がぼつんとあるだけ。昔は、この辺りで座が持たれ、座の数も多く盛んであったらしいが、だんだん減少して来た現在では、この三条で上演されることは年に数える程で、現存している座は、福良で、ある期間中だけ島めぐりの船が着く時刻に合わせ上演していることを聞き、福良にかけつける。船つき場のすぐ傍に設けられた芝居小屋の両側には人形や、人



平和の鐘のある常隆寺山門



形小道具がずらりと並べられている。島めぐりの船が着くと同時に公演されることになっていて、大人二〇〇円、小人一〇〇円で三〇分間みられる。(開館期間3月1日~11月30日) 今日の催しは、娘巡礼の「傾城阿波鳴門」その人形の巧みな動きは、太夫の語り



淡路・人形浄瑠璃 舞台はおつるとお弓

記」と、牛若丸と弁慶の「鬼一法眼三略巻」があり、この三つが交替で上演されるのだそうである。

そもそも、淡路人形浄瑠璃の起源説としてはいろいろの伝説があり明白ではないが、摂津西宮の百太夫というデコ廻し(人形つかい)が島に渡来し、三条村で永住するうちに人形芝居の根拠地となったのであろうといわれ



人形浄瑠璃・発祥碑

西宮ではもう見られないものが、淡路に残っていると皮肉なものである。これら人形は藩政時代後期にもっとも隆盛をきわめ、当時は、四十

四座もあったというからたいしたもの。現在の大阪文楽の源は淡路出身の道具屋大蔵が開いたものであるが、文楽に比べると淡路人形は宗教的色彩が強く、野趣豊かで素朴なのだそうだ。

一応無形文化財には指定されているものの、後継者のことや人形保存に関係者も頭を悩ませているようである。

## ●私の好きなあわじ

古風な山口屋で魚料理を

松田 達夫

《風群文学会主宰》



私が今春「淡路島」という小冊子を創刊したとき、取材やスポンサー廻りのなかで一番印象を深くしたのが阿那賀の旧家の料理旅館「山口屋」である。

初代山口屋吉兵衛は、宝暦十三年(一七六三年)阿波峰須賀公より阿那賀山林の総取締に任ぜられ三代目甚四郎の代になって町人ながら苗字帯刀を許されて甚四郎と名乗り、巾広く廻船業で、瀬戸内海で商いを行った豪商だ。

その二百八十年を経た古風な建物、女主人の手で支えられて、漆黒の度を柱梁に加え、歴代の人々の息を秘めて、冷めたく澄んだ気配は森厳なおもむきをそなえている。現在の料理旅館になったのは七年前。気心のしれた特定の人しか泊めない気ままなところがこの旅館の魅力。鳴門鯛、ウニ、イカ、サザエ、アワビと海の幸に野菜の煮フクメは京の味がする。

女主人の一人息子十二代目崇さんは今をときめく新劇俳優でもある。(四国亀浦からフェリーで阿那賀へ二〇分。三原郡西淡町阿那賀TEL(〇七九九三九)七番一六七番



山口屋

# ★SHOP & EATING

淡路島で一番の街は洲本市。おやじさんの時代から引きついで、街の大学を出て帰って来て店をついでる若手経営者たち、すこく張り切って、淡路を考えてる。

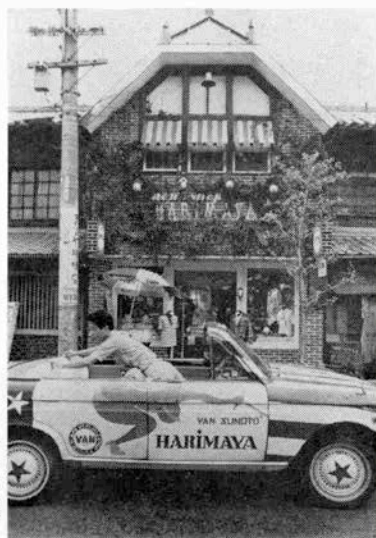
洲本市で淡路一番コーヒーがうまい店「マルウメ」船越武さんという主人がサイフォン煮きのおいしいコーヒーを飲ませてくれた。10年程前までは神戸のアルモンドのケーキを船で運んでたけど今ではあまりケーキもめずらしくなくて余り人気はないそう。新開地という路地にある店、他には海岸通りの弧倫蜜という喫茶店もコーヒーがおいしい。海岸通りには「人形喫茶六万石」という人形百体あまり集めて飾ってある店があつて、御主人の阿部さんが人形好きだとかで日本でもめずらしい喫茶店。



▲常盤の店の人  
マに出て来そうな家族。  
下着専門の店「ロロ」  
はチュニックの商品が多



▼コーヒーマルウメ



▶はりまや

かった。とてもしやれた店で明るくて気分がいい。お隣りには男子専科VANの品をあつかった「はりまや」がある。「ブロス」にはKOBÉのニットメーカーワールDの商品が沢山入っていて淡路の人々に親しまれている洲本町近くにある。福良へ行くと、普通の家をそのままお好み焼き屋さんにした「くおん」がある。庭と池のあるこの家は風通しのいい純日本風の家で、洲本からタクシーでかけるのだそう。阿那賀の海岸の見える丘の上に「梅丸別館」がある。注文もしないのにバクバク口をあけて尾っぽをピンピンさせている鯛の活造りができて、鯛頭のおすましに大きなエビとやさいの天ブラ、おまけに宝楽焼きという焼き石で鯛を焼いてあるもの。これが一人前2000円ときいてあまりの安さに口を開けたまま「ヘー」。

8月はキス、あなご、さより、たこがおいしいとか、淡路は、魚の好きな人にはまさに天国といってもいいようです。



▼ロロ



# ★キャンプならここ

●瀬世内海の島々を美しいと感じながら福良から吹上浜までドライブ、山の道なき道をうねうねと通って着くと徳島から来た高校生が青年の家へ砂浜づたいに歩いていた。松林をぬけ、堤防に座って海を眺めると潮風が髪をさらっていく。

●阿那賀を通って慶野松原から五色浜・尾崎・室津と淡路の西淡は夏はキャンプ場、バンガローと阪神間から訪れる若者でふくれあがる。自然を残した、旅情豊かな夏の日々を過せる。

●江井崎は近くの漁村の人々がいかなごや、わかめを干して、テトラポットと漁船のカラフルな船体の美くしさを待つ浜、つりも多いに楽しもう。

●淡路の南淡由良港は、小さな港、貝の採取をした船が夕方には帰ってくる。南の天の橋立と言われる洲が港ぞいに細長く横たわり、成ヶ島がある。ここのキャンプ場もひなびた田舎の味を満喫できる。



▲ 吹上浜遠くに見えるのが淡路青年の家

## ●淡路海浜コース

井戸 均

〈淡路フェリー営業課主任〉



仕事からやはり夏の海水浴場をお教えしましょう。

兵庫県が指定をしたサンビーチは、北淡町の小倉海岸と、東浦町の浦海岸で、家族づれで楽しめる。フェリーに発着場からも十分ぐらゐのところですから、朝ゆっくりでも、充分美しい浜で、海水浴ができます。

また、洲本の大浜海岸や、五色浜の慶野松原、江井の海岸などはバスで一時間～一時間半はかかるので、一泊でゆつくりできます。フェリーは、須磨からなら終夜運行して四〇分毎にはでていますし、土・日は、夜遅く到着して、キャンプや、民宿という人々も多勢。夏場はフェリーも二、三週間前に予約いっばいになりますので、四カ月前から受付けているから早めにご予約下さい。

ほかには洲本と一宮にゴルフ場もあるので、ゴルフも共におすすめます。また夏の常陸寺へ、山登りというのも、ハイキングファーンには評判のコースです。

## 民宿ガイド〈南淡町〉

か	る	も	荘	07995—2—1377
大	岩	荘	07995	
			呼出 2—0937	
と	み	栄	荘	07995—2—0389
フィッシング	荘			07995—2—0200
安	部	旅	館	07995—2—1397
浜	千	鳥		07995—2—0041
吹	上	荘		※ 079955—225
次	男	坊		※ 079955—166
玉	の	家		※079955—6065
おれんじ	荘			※ 079955—751



▶ 小魚を干してある浜



# ★国民休暇村

福良湾を眼下に見下す、とっても景色のよい所にあるのが「南淡路国民休暇村」。安くて健康的で自然に親しめるとあって、家族連れや女性のグループ客に大評判。真新しい宿舎はとっても気持がいいし、淡路でとれる新鮮な魚の料理がとってもおいしい。それに、しほり立ての新鮮な牛乳を使った「牛乳風呂」（入浴料50円、但し六～八月は休み）はここならではの楽しみ。宿舎のすぐ下には展望リフト、プール、ボート、釣船、遊歩道もあり、海のレジャーを思いっきり楽しめる。

「レジャー時代にそなえていろんな娯楽施設を増やす予定です。三～四泊で思いきり余暇を楽しみたい人はぜひどうぞ」と支配人の細見さん。京阪神からのお客が80%でその8割が兵庫県の人だそう。年間18万人の利用者があるのを見ても、その人気のほどがうかがえるというもの。



あしは福良から淡路交通バス10分、または休暇村行船10分。宿泊費七百円から。申込みは直接休暇村へ。  
TEL 0799 5 (福良局) 2  
1〇二九一(代表)

## 旅館・宿泊所ガイド

やぶ万	福良 (07995)2-0017	浜千鳥	福良 (07995)2-0041
海上ホテル	福良 (07995)2-1175	藍山	阿万 (07995) 32
ちど利	福良 (07995)2-0152	開月	北阿万 (07995) 34
三福	福良 (07995)2-0423	紅葉	北阿万 (07995)120
大黒	福良 (07995)2-0120	あびす屋	灘 (079956) 8
風雅	福良 (07995)2-0158	木村屋	沼島 (079957) 10
潮見	福良 (07995)2-0341	とらや	沼島 (079957) 34
よし園	福良 (07995)2-0048	南淡路国民休暇村 うずしお荘	福良 (07995)2-0291
長尾	福良 (07995)2-0161	公営淡路 ユースホテル	福良 (07995)2-0460
樋富士	福良 (07995)2-0039	民宿 とみ栄	福良 (07995)2-0389
福良旅館	福良 (07995)2-0217	民宿 かるも	福良 (07995)2-1274
ちどり丸旅館	福良 (07995)2-0055	民宿 恵比須荘	阿万 (079955) 259
鳴門荘	福良 (07995)2-0135	民宿おれんじ荘	灘 (079956) 751



# ★ドライブ

## 淡路

★フェリーで到着した車は整理員が手際よく誘導、いざ淡路島へと走り出してゆく。東海岸の国道二十八号線、事故の多くが無理な追越しに原因があるという。カーブが多いのと、お互い相当スピードが出ていたので自分の車のパワーに自信がない人は気をつけた方がいい。

左手に美しい海岸、右手には頂上附近が霧にかすんだ淡路連山を見ながら快適なドライブだが、中へ中へと入っていくのが淡路島のドライブのおもしろさ。

州本に入る直前、川沿に右折すると、間もなく「先山千光寺」の名標が目に見え込んでくる。州本の町から数キロしか離れていないが、走るほどに「これぞ先山へ通ずる道ぞ」と叫びたくなるような田舎道。ローギアにけり込んでエンジンにはタコメーターの針を振り切らんばかりに回転し、うなり声が山にこだまする。スノータイヤをはいた車輪が泥をけちらしながら頂上までくるとチョットした広場に行き止まる。エンジンを止めたとなんまわりは静寂につつま



論鶴羽山への道。体力がいります

れ、石段を登る足音だけがひびく。晴れた日には淡路島全体だけでなく遠くは紀伊半島までが眺望できるという。とにかく仙人にもなったような気分になってしまふのは、あたりのあまりの静けさのせいであろうか。

静かなドライブに物足りなさを感ずるドライバーには、ここで気分一新して先山の中腹から延びる電波観測所までの山道がヒルクライムの気分を味わうのに最適。急な坂道とヘヤーピンカーブ、道幅も広くなり、よほど大きくスピードしない限りまずは安全。だがここはあくまでも公道であり、時たま対向車が来ることもあるのでカーブ地点に見張りを立てた方がいい。

さらにここからはかなり離れる

が、ドライブアドベンチャーとしては淡路最高峰・論鶴羽山をトライするのが最高であろう。洲本―由良を経て黒潮の見える灘海岸を走る。ここは二月三月には水仙の名所として知られる所である。

途中「黒岩」というバス停からせまりくる山に向かって真すぐに登りはじめる。途中幾度も道が分れているが、村のオバサンに聞いてみると、土地言葉丸出しで教えてくれるのが楽しい。ここ数日車が通ったことがないようなガラガラの岩道をボディの床をガリガリこすりながら登ってゆく。途中不安にかられても絶対ひるんではならない（引きかえそうにもターンする場所がまったくないからである）チョツとしたハンドル操作のミスも許されない。一つまちがえばそのまま黒潮の中まで落ち込んでしまいそうな崖、目がランランと輝いてくる。

頂上論鶴羽神社に約一時間半を要してやっとこさ到着。そのあと三原に通ずる比較的簡単な山道を尾根づたいに下る。途中目の前に突然きれいなダムに行きあたり、ここで再び小休止して目を休める。もう眼下には三原の町が見えてくる。全行程約三時間のスリルと振動？に満ちたヒルクライムコースであった。

# ★モダン淡路



埋立がすすむ志筑港

は淡路の自然が破壊されてしまうので、兵庫県はこの七月土砂採取を大幅に規制する「土取り事業規制要綱」を定めた。淡路北端部、常隆寺山、先山、論鶴羽山など全島の三〇%にあたる百八十万平方キロは一切の土取りが禁止され、淡路の自然がそのまま守られるようになったのは嬉しい。

東浦海岸の志筑港を訪ねてみると、港外では着々と埋立が進み、着岸したフェリーからは次々と乗用車やトラックが吐き出されていく。志筑を中心とした東浦海岸は阪神からのフェリー基地として今大きく変わりつつある。

●架橋 明石・鳴門架橋の工事はいよいよ来年から開始されることになったが、岩屋近辺ではもうその準備がすでに始っていた。架橋が完成するのはまだ十年も先のことだが、橋がかかれば淡路は阪神経済圏と直結することになる。

●開発 淡路島北端の東浦、西浦海岸沿いでは今大規模な開発が進められている。フェリーから眺めると緑の山にポツカリと茶色の穴がある。その中をダンプ

カーが蟻のように走り回り、次々と土砂がベルトコンベアーで海に運ばれていく。採取された土砂は大阪港の埋立や志筑港の埋立に使用されるが、このままでは

その時淡路は本州と四国とを結ぶ単なる通過地点となってしまうか、あるいは両者を結ぶ重要な交通の要衝となるかで淡路の姿はずい分変わってくるだろう。

●レジャーランド 現在の淡路は、キャンプ、釣、海水浴、ピクニック、水仙郷、関西からの一泊旅行、といったレジャーランドとしてのイメージが強く、実際レジャーを中心として変貌しつつある。立派な有料道路が淡路の西と東を結び、その沿線にはモダンなドライブ・インが立ちならぶ。

福良湾南の山頂には丹下健三氏の設計による超モダンな「戦没学徒の碑」がそびえ、吹上浜には国立青年の家も建設された。島内のあちこちには会社の保養所や海の家、個人の別荘なども次々と建てられ、余暇時代を迎えて淡路は今や神話の島からモダンなレジャーランドへと急速にその姿を変えつつある。

●意識の変化 環境が変われば人の意識や感覚もまた変わってくる。びっくりするほどハイセンスなブティックや喫茶店があちこちにあらわれ、ニューモードの女性が町を闊歩する。

山が削られた跡には団地が建設されつつある



島国根性だの閉鎖性だのといわれながら、若い世代の感覚は海を通り越してすでに大都市の若者や世界の若者たちを結びついている。これからのモダン淡路をつくっていくのはこうした若者たちであり、彼らの英知とエネルギーに淡路の未来がかかっているといえるだろう。

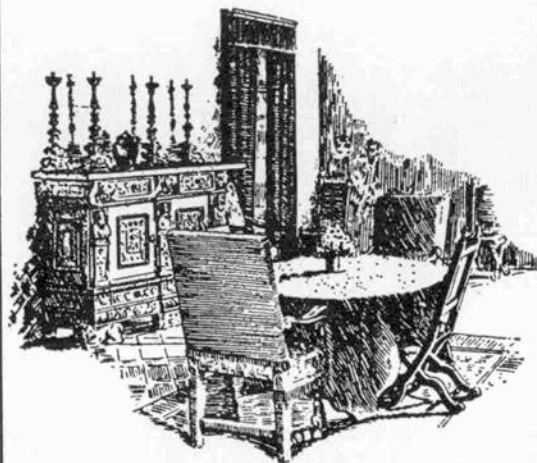




呉井陳蔵  
みよーや

神戸店 大丸前  
電話 神戸 (331321) 三四八番(代)  
大阪店 阪神百貨店三階  
電話 大阪 (345) 九五八番  
姫路店 やまとやしき百貨店四階  
電話 姫路 ②③ 一二二番

欧風家具・婚礼調度



設計・創作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目 大丸前 TEL 神戸 (391) 3737 (代表)  
東京店・東急百貨店 { 日本橋店内6階 TEL 03(221)0511  
本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180  
工場 神戸市垂水区多聞町小東山 975-35  
神戸木工センター TEL (078) 706-5005 (代)

美しく 楽しく ダイナミックに

踊る!!



Shoko Imaoka Modern Dance Institute

## 今岡頌子舞踊団

バレエ教室



児童・本科・一般・研究科



月・水・金・土曜日



住友銀行三宮ビル 6 F

センター街東入口

Tel 391-1518

# 佐本歯科

小児歯科・一般歯科

診察時間（予約制）

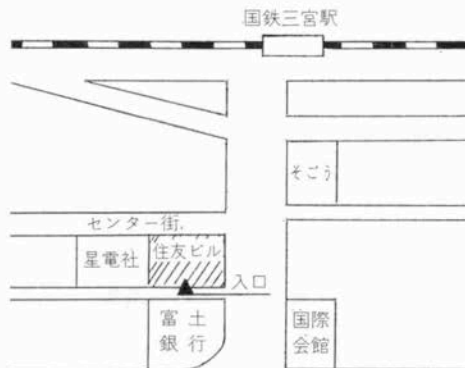
AM 9:00—PM 1:00（受付12:00まで）

PM 2:00—PM 6:00（受付5:00まで）

（土曜・木曜は午前中）

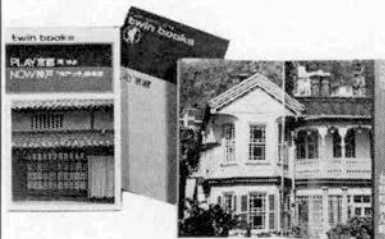
そごう前センター街東角・さんちか入口  
住友銀行三宮ビル 6 階

TEL(078)331-6302~3



〒650 生田区加納町 5 丁目39

## ★NOW 神戸発行!



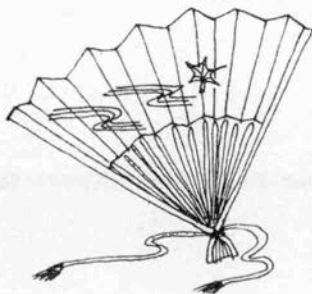
私達の町、神戸を紹介した本が  
8月1日から発売されています。  
岡ゆきさん編集の京都とワンセッ  
トのツインブックで、京都に劣ら  
ぬ神戸のよさや、神戸の風情が余  
すところなく描かれています。

異人館の多い神戸、山海に囲ま  
れた神戸、おしゃべりな街神戸、  
ショッピングの街神戸。ロマンチ  
ックで、新しいようで古い、その  
反対もいえる神戸の町を、美しい  
風景や楽しい写真とロマンチック  
で人なつっこい文章とともに散策  
してみてください。

「ワニ」のマークのツイン・ブ  
ックス NOW神戸

発行・株式会社ベストセラーズ  
編集・「神戸っ子」編集室  
定価・850円  
各書店でお求め下さい

## ★神戸っ子劇場を はじめました



このたび、月刊神戸っ子では2  
ヶ月に一度日本のオリジナル（能  
・狂言・歌舞伎・文楽・邦舞・邦  
楽）などを中心にした芸能を企画  
主催して、より日本の伝統文化に  
親しんでいただくお願いいたしま  
した。よろしく願いいたします。  
「みやび」の会会員になって下さ  
い。

この神戸っ子劇場を継続するた  
めに「みやび」の会をつくりまし  
た。会費は

入会金 1,000円

毎月額 1,000円

です。

グループでお申込み下さい。

みやびの会は神戸っ子劇場の母  
胎となる会で伝統文化を愛する人  
たちの集いです。神戸っ子劇場だ  
けでなく会員同志の優雅な交歓の  
つどいにもなります。

係/神戸っ子・成広高史  
tel 221-7037

## ★Kobekko Samba School



神戸まつりは年々盛大に賑やか  
になってきました。

月刊神戸っ子では、神戸まつり  
はサンバでいこうという旗印をか  
けて毎年パレードのフィナーレ  
を飾っています。

サンバのリズムをより楽しくマ  
スターしていただくために、そし  
て素晴らしいサンバチームを作る  
ためにスクールを開きます。

勤めている方、重役さん、商店  
のご主人、そしてBG、学生、男  
女、年齢を問いません。サンバの  
リズムの学校に入学下さい。

校長先生は日本の打楽器の名  
手、古谷哲也のおじさんです。

入会金 1,000円

会費 1,000円

一学期は3ヶ月間 あとは研究  
科です。研究科3ヶ月でサンバチ  
ームのメンバーになります。

係/神戸っ子・藤原保之  
tel 221-7037